



幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオンニュースレター

WILDERNESS

〒300-3253茨城県つくば市大曾根3765-4 029-895-3775 info@yoshonencamp.com www.yoshonencamp.com

FEATURE

花山スタッフ募集開始!

- 伊藤忠エネクス新人研修
- GW 花山オプションツアー

○5 月月例会

○春のゆめキャンプ第一回

6月号の特集

FOREWORD

5月25日日本キャンプ協会という団体が主催する日本キャンプ会議で、幼少研がサポートするウィルダネス教育協会の発表を行って来ました。昨年度、あきやりくにもサポートを受けて行った海外ワークショップからムーブメントが起こり、3月にお伝えしたアメリカでの資格取得コースの開催をへて、いよいよ国内で資格を発行できるようになりました。国際資格というつつい身構えてしましますが、カリキュラムは花山キャンプのカウンセラー育成そのものです。みなさんにとってはあまりにも花山が短すぎてそれが自然なことです。世界に発信すべきすばらしい実践をずっと続けているんです。ここで学んだこと、これから学ぶことに自信と誇りをもって、みなさんの人生に役立てていってください。

REPORTS

○伊藤忠エネクス新人研修

2013年4月27日～29日、茨城県筑波山・加波山周辺で伊藤忠エネクスの新人研修を行いました。参加者は新人社会19名に加え、エネクス人事スタッフ3名の計22名でした。また、スタッフは、ばくさん、たくさん(WMA)、たかさん(アソベンチャーライフジャパン)、よっちゃん、あゆ、がっきーの6名が務めました。

1日目は、ゆかりの森にてASE活動(課題解決ゲーム)を行いました。アイデアをたくさん出し合い、見事クリアしていく班もあれば、アイデアを出し合っても後一步の所でクリアできない班もあり、ASE活動ならではの班の特徴を感じられる時間となりました。昼食をはさみ、16:00頃まで行き、その後は班ごとにテント設営などを行いました。1日目の夕食は本部からの提供となったため、参加者はお腹いっぱい食べ、夜の集いを行った後は明日からの登山に向けて早めに就寝に入りました。



2日目、朝食、装備指導、パッキングを終え、8:00にキャンプ場をバスにて出発しました。9:30にスタート地点に到着し、10:0頃から登り始めました。さあ、長い道のりが続きます!!(約16km、9時間強道のりです。)途中、カウンセラーが地図・コンパスなどの登山知識を指導しながら、参加者に道を選択させ、1日目のゴールとなるビバーク地点まで向かいました。また、地点ごとにリーダーや副リーダーなどを変える(LOD, Leader of Day)も行いました。班ごとに様々な出来事を経験し、無事、目的地に到着した班からテント設営、夕食づくりを行い、就寝しました。そんな中、一番遅い班は、20:00過ぎに到着。疲労困ぱいかと思いきや、爽やかな表情でゴールしてきた彼ら…いい経験をしてきたのでしょうか!!

3日目、朝2:00起床。3:30前に出発し、筑波山女体山山頂での御来光を目指しました。一気に登る行程であったため、途中で列から遅れる者もいましたが、21名+スタッフ全員で声を掛け合いながら、無事、全員が御来光前に女体山山頂にたどり着くことができました。絶好の天候の中、壮大は日の出を見て、休息をとった後は、いよいよ下山です。下山方法は、距離が異なる3つの中から選択してもらいました。①筑波神社コース(最短コース)②奇岩コース(中距離コース)③つつじヶ丘コース(最長コース)。3コースは1時間30分から2時間30分で下山できるコースです。

結果、最長選択人数が一番少なく、最短が一番多くなりました。(素晴らしい御来光を見て、満足しきっちゃったかな?)

下山後は、温泉、食事、ふりかえりを行い、無事、研修が終了しました。

<感想>

登山道をほとんど歩かないため、カウンセラーとして班がどんな感じになるのかなという不安がありまし

たが、分岐一つとってもたくさんの話し合いを行ったり、時にはぶつかり合ったり、励ましあったりと、とても良い研修となりました。また、終始、天候もよく最後の山頂での御来光は素晴らしいものを見させてもらいました。楽しませてもらい、たくさん勉強させてもらったこの研修は私にとっても良い研修となりました。



(よっちゃん)

OGW 花山オプシオンツアー

5月3～5日の3日間、宮城県花山キャンプ場でオプシオンツアーが行われました。参加者はぎん、ゆかこ、みずき、ももたろうの4人。指導者はばくさん。ほっちも参加してくれました。

1日目は花山キャンプ場の環境整備をしました。主に本部テントとごりらハウスの掃除をももたろう&みずきペア、ぎん&ゆかこペアに分かれて行いました。その後夕食まで自由時間をとったのち、夕食をとって就寝しました。

2日目は山菜取りと橋の瓦礫の撤収作業を行いました。山菜取りは、朝5時に起床し、ゆかこの案内で1つめのポイントまで行きましたが、どれが山菜なのか分からず食べられない草を収穫してしまいました。キャンプ場に戻ってからはばくさんの運転でもう一つのポイントへ。ばくさんのアドバイスの元、タラの芽の収穫に熱中しました。タラの芽は枝に固いトゲの生えている植物なので、高い所にあるものは隣の木に登ったり、枝につるを引っかけて引き寄せるなど工夫して収穫しました。さらに足元に生えていたごみも収穫することができました。

朝食をとった後は流されてしまった橋の瓦礫の撤去作業を行いました。流されてから長い間放置されていたためか、ほとんどの瓦礫が水を吸い、腐りかけているものもあったため、邪魔にならない場所まで運んで自然に戻すことにしました。水を吸い込んだ瓦礫は本当に重かったです。その後は薪小屋の整備も行いました。昼食をとったからは、午前中の続きと薪置き場の撤去作業をしました。夕方には温泉に行き1日の疲れを癒したら、キャンプ場に戻り山菜パーティーをしました。僕は初めての山菜の天ぷらでしたが本当においしく、いつか自分でも作ってみたいと感じました。夜はばくさんから明日のバックカントリースキーで身に

付けるビーコンの説明を受けたのち、地図コンの練習をしました。最初は磁北線の引き方が分からず苦戦しましたが何とか解決策を見つけ出し、現在地から目標の方角を定める練習をしたのち就寝しました。

3日目は主にバックカントリースキーを行いました。5時半に起床し、朝食を済ませた後、荷物のパッキングとキャンプ場の片づけをしました。しかし、出発時刻になっても片づけが終わらず、トイレ掃除や焚火を消し忘れがあったりとミスが目立ちました。何もかも全員で動こうとせず、考えてから行動することが大切だと学習しました。イワカガミ平到着後は出発準備でしたが、ここでも時間がかかってしまい、30分のロス。加えて前日のうちに山行計画を立てていなかったため何時間で山頂に着くのが分からず、その場で調べたためさらに出発が遅れてしまいました。参加者全員、準備の大切さを痛感しました。山頂までの道は、前半はみずきがリーダーとなって進んで行くことになりました。途中で雪崩が起きそうな斜面の歩き方を学びました。山頂まで半分ほど進んだところでみずきにフィードバックをし、後半はゆかこがリーダーに。山頂までの急斜面を登っていきました。ラストの上り坂はかなりキツかったですが、お互い励ましあって何とか登り切ることができました。そして念願の山頂へ。風が強く寒かったため、あまり長くは居ませんでしたが、それでも山頂からの眺めは最高で達成感を感じられました。下りはぎんがリーダーとなって滑走しました。途中で先に滑っていったばくさんたちと合流し、緊急ビバークの練習。制限時間20分でツェルトなどを自由に使い一晩過ごせる環境を作り出すのが目標で、ぎん&ゆかこペア、ももたろう&みずきペアに分かれて挑戦しました。しかし、笹で強風が防げると勘違いしていたことやツェルトの使い方が分からなかったなど両チーム苦戦し、結局タイムアップ。ばくさんに雪を使って風を防ぐ方法を教えていただきました。身の回りの環境を存分に生かすのがポイントですね。その後はイワカガミ平まで滑り、温泉で3日間の疲れを癒しました。最後に全員で反省会を行い、それぞれの改善点と次回の目標を述べて終わりました。



<感想>

今回の活動は今までと違って、自分より年下の高校生たちとの参加でした。そのためか、つい気が緩んでしまい判断が遅くなってしまうこともあり、自分がミスをしてしまったりすることもありました。また、BCでは準備を怠ってしまったことや大学生として指示すべきこ

とを指示できなかったことが問題点です。さらに、山行時間の計算や雪崩の起きそうな斜面の滑り方など、知識の面でも改善しなくてはならない部分が山ほど出てきました。しかし、自分の改善点を再確認できたことでモチベーションが上がったのも事実です。今回の活動をしっかりと振り返り、次の活動につなげていけるよう努力していきたいと思います。参加者の皆さんは本当にお疲れ様でした。(ぎん)

〇5月月例会

5月12日、5月の月例会は春の夢キャンの下見も兼ねて那珂川でカヌーをしてみました。参加者は、よっちゃん、たかひと(がっきー)、よっちゃん(ぎん)、もりお、きむちゃん、あき(あゆ)、の6人。

7時つくば駅集合で、事務局でカヌー(ロデオ艇)を1台車内に載せてレジアスにぎゅうぎゅう詰めで楽しく那珂川へ向かいました。今回は、カナディアン1艇、1人乗り2艇、・タンDEM(2人乗り)2艇の装備です。まずは2艇のタンDEMの組み立て。骨組みに船体布をかけるのに非常に苦労しましたがなんとか完成。次にパドルを組み立て、以下にあげた操作方法のレクチャーを受け、漕ぎ出し。

ホワードストローク	前方に進む
バックストローク	後方に進む
ハイブレス	積極的に立てて持ったパドルを船頭に寄せて方向転換する
ローブレス	消極的に寝かせて持ったパドルを船尾の方で水に押し付け方向転換する
スイープ	遠くを漕ぎ、方向転換する
スカーリング	寄りたい側に立ててパドルを持ち八の字を描くように漕ぎ真横に進む

操作性の高い一人ロデオ艇や推進性の高いタンDEM、どちらにも挑戦し、練習した後バクさんによる試験。パドルの入水角度、目標物を定めて進むこと、空間把握が大切だということがわかりました。また、瀬などの流れがあるところでは、真横に進みたい場合は斜め45度の方向に進もうとすると流されずちょうど真横につくことができます。

昼食を食べ、川下りスタート。テトラポットは吸い込まれてしまう構造になっているため近寄るのはリスクがあることや、瀬の入り方を学び、沈起こしレクチャーへ。ぎんが沈をし、ばくさんが助けます。助ける人は、まずカウテルで自分のパドルを固定し、自分のカヌーの後ろに沈をした人を捕まらせておきます。そして沈をしたカヌーの水抜きを、自分のカヌーの船頭でテコの力と水の重さを使ってゆっくりと船頭と船尾それぞれを傾け行きます。近くに上げられる場所がある場合はそこを使っても良いですね。瀬で沈をした場合は流れのない場所まで流れてもらいましょう。その際は仰向けで浮かび、足を下、頭は上の態勢です。このあとすぐ風(海からの向かい風)が強くなってきたため上げたカナディアンを連れて、ばくさんは車を回しにいてくれました。

2時間弱、わたしは泳いでケータイを壊しかけたりしましたが、6人でわいわいゆめキャン第一回目のゴール地点大瀬のやなまで下りました。ばくさんと合流し、撤収し、着替えて、つくばへ戻ります。みんな爆睡で

した。この日は非常に天気良くみんなバッチリ日焼けして腕や顔が赤くいました。そして意外に脚もやけます。荷下ろしの後はダッシュで発送作業。6人もいると早いです。つまごいの報告書、ゆめキャンのニューズレター、花山のお誘いの3つでしたが2時間弱で終わりました。(あゆ)



〇春のゆめキャン第一回

5月18・19日で春の夢キャン第一回が那珂川で行われました。春のプログラムはカヌーです。CUからはPDとしてよっちゃん、カウンセラーとしてがっきー、ぎん、あゆが参加しました。

8時に大穂庁舎を出発し、10時半に下野大橋に到着。班ごとに分かれ、まずは1班2艇ずつタンDEMを組み立て、昼食。その後、着替えて、パドルの持ち方を確認し、漕ぎ出します。橋の下まではとろばなのでほぼ流れはなく練習に最適です。

最初は特に漕ぎ方は教えず好きなように漕いでもらって水の感覚をつかませます。少し経って、ホワードストローク、バックストローク、ハイブレス、ローブレス、スイープ、スカーリング、ストップの技術をゲームなどを介して取得し、班対抗ゲームに向けて練習します。班対抗ゲームはカヌーポロ!カヌーに乗った状態で行うサッカーや水球のようなスポーツです。勝ち抜き戦で、1班が優勝!敗者復活戦では3班が勝ちました。どの試合も白熱していました。カウンセラーもちろん本気で参加しましたが、やはり、カヌー経験のあるベテランキャンパーは強かったです。



これで初日のカヌーは終わりにし、上がって、テント設営。ここではベテランキャンパーや初参加でも家

族でキャンプの経験のあるキャンパーたちがリードしていました。着替えを済まし、夕食作りへ。メニューは鍋と白いごはん。ここでもキャンパーたちは今までの経験を活かして協力します。どの班も美味しそうに食べていました。

食後は夜のプログラム。まず、その日1日で周囲に気を配れたことや他人のためにしたことを発表。発表した人から次の日のお昼をゲットできます。

この後はナイトハイク。夜川辺は非常に静かで、水際には稚魚やヤゴがたくさん集まっていました。昼間からずっと釣りをしていた人がちょうど何かを釣り上げたようで見せてくれたりしました。帰ってきて9時頃には就寝。

2日目は6時起床のはずがキャンパーたちは5時半ごろから起きだし、がっきーを引き連れだるまさんが転んだをしていました。(端っこで寝ていたがっきーありがとう。)(以下の写真、左から:がっきー、ぎん、あゆ、よっちゃん)

加のとりっぴーがカウンセラーとして登場します。お楽しみに！
(あゆ)



●花山スタッフ募集

今年も花山キャンプ時期が迫ってきました。花山キャンプでぼキャンプ指導は大変なこともあります、それ以上に楽しみややりがい、成長を感じられるものとなっていますので、是非、スタッフとしてご参加ください。

参加コースは1コースのみでも、複数のコースでも構いません。お待ちしております。

PROFESSIONAL
OPPORTUNITIES



●Aコース

対象：小4～中2

日程：8月1日(木)～8月6日(火)

●Bコース

対象：年長～小4

日程：8月8日(木)～12日(月)

●Jコース

対象：ジェフ市原ユース

日程：8月13日(火)～16日(金)

●Cコース

対象：小5～中・高校生

日程：8月17日(土)～24日(土)

締め切り：6月30日(日)



朝食、撤収を済ませ、必要な荷物を防水バックにつめ、活動開始。瀬の入り方を学び、沈をした時の対応を練習します。まずは沈脱。足をまっすぐにし冷静にお尻からするとカヌーから抜け出します。

次に沈起こし。班で2セット練習。1班は3セット、タンデムも沈させました。

救出方法は、まず沈をしたカヌーの近くのカヌーは大声で周りの人に伝えます。次に沈した人の近くに寄ってきた1艇のカヌーの後ろにつかませます。この時横から捕まるとバランスが保てずもう1艇沈する可能性があるので必ず後ろです。それから沈したカヌーを2艇が両側からはさみ、持ち上げ左右それぞれ持ち上げ水を出します。そしてしっかりカヌーを手やパドルでしっかり固定し、沈した人が乗るのを助けますその前にタンデムがあれば、その真ん中に沈した人を乗せておくと楽です。

しっかり練習したところでさっそく出発。テトラポッドに近づかないことなど追加情報を途中で学びながら瀬も楽しんで下ります。お昼は火を焚いてお湯を沸かして食べました。ここからゴールはすぐです。第一回のゴールは大瀬のやな。さくっと下り、到着から1時間でカヌーとパドルの解体と、着替えを済ませ、バスに乗り込みつくばへ帰りました。

第二回はもっと長い距離を下ります。それから初参



○茨城県筑西地区指導者養成

日程：6月30日（日）12：00-15：00
 場所：さしま少年自然の家
 対象者：社会人
 指導内容：ASE
 募集対象：社会人、大学生
 募集人数：3～5人
 謝金：あり
締め切り：6月25日（火）

○ヤングボランティアセミナー

☆高校生のCUメンバーもスタッフとして参加できるものです。成長するためには経験あるのみ！！
 日程：7月7日（日）9：00-12：00
 場所：さしま少年自然の家
 対象者：高校生
 指導内容：ASE
 募集対象：社会人、大学生、高校生
 募集人数：3～5人
 謝金：あり
締め切り：7月2日（火）

○7月月例会

日程：7月7日（日）13：00～
 場所：事務局
 内容：ロープワーク、野外救急法（予定）

○7月研修合宿

日本で最高の山の景色が待っている。
 日程：7月14日（日）～15日（月）
 内容：登山研修（北アルプス蝶ヶ岳～常念）
 集合：高速バス利用、松本駅集合解散
 参加費：10000円（食費、保険、施設利用料等）

○企業研修スタッフ募集

日時：7月16日（火）
 内容：ASE指導
 条件：大学生以上、CUの登山研修と連続なので、両方参加できるひと。（首都圏からの交通費を出すことができません）
 謝金：15,000円

○スタッフメ切り

7月19日と、7月23日から行われる企業研修のスタッフ募集を締め切りました。お申し込みありがとうございました。



広報担当のあゆです。つい最近冬が終わって春になったと思っていたらもう暑くなってきましたね。4月中にあった伊藤忠商事やエネクスの新人研修の夜はダウンを着ても寒かったのですが、5月のゆめキャンではテントなしのタープ下で寝袋で寝て快適でした。学校でもエアコンがかけられ始め、こちらは上着をもっていないと授業中は寒いくらいです。

そんな中わたしは5月最後の週末に山形の月山（がっさん）にシーズン最後のスキーに行ってきました。立川出発の460キロはとても遠かったです。でも非常に有意義でした。ショートポールとコブ（すごくいっぱいあります、ライン選び放題です）の練習をしました。ゲレンデから延びる尾根沿いの綺麗でご飯の美味しい宿に泊まりました。そこからリフトまで15分ほど歩き、さらに5分歩いて1つ目のTバー（簡易リフトのようなもの）を2つ乗り継ぎ、その2つ目のTバーを回して練習を行いました。帰りは宿のすぐ脇まで尾根を下ることができます。

天候に恵まれたこともあり、山の上からの景色はとても良く、白い山々や新緑、2つの湖を臨みながら気持ちよくトレーニングができました。でも雪が残っているとはいえもう晴れの日暑いので滑っているときは半袖かその下にアンダーアーマーを着るくらいでちょうどよかったです。

帰りは寒河江SAの温泉ゆ～チェリーに寄って、農産物直売所でさくらんぼを購入し、ソフトクリームの米粉フレーバーに感動し、帰ってくるという最高の2日間でした。

月山では8月まで滑れるようなので、まだまだ滑り足りないという人は是非行ってみたいはいかがでしょうか。



（あゆ）